



「地域から世界へ」 友情の花

厳冬を越え、咲き誇る白梅が、目の前に広がっていた。早春の、その名も東京・青梅市で2007年（平成19年）3月8日、池田名誉会長がカメラに収めた。「梅は一番、品格があるね」と。

前日、八王子市の東京牧口記念

会館で開かれた本部幹部会で訴えた。「『勇気』『忍耐』『団結』——。この三つで学会は勝ってきた。これを忘れてはならない」

梅の花言葉にも、「高潔」「気品」とともに、「忍耐」とある。寒風の中、万花の先駆けとして咲

く梅は、「忍耐」という大地の上にこそ、幸福が花開くことを教えてくれているようだ。

わが地域を地道に歩き、粘り強く語り、「友情の花」を咲かせよう。そこから「世界広布新時代」は広がっていく。

生命は動きである。
宇宙も動いている。
地球も動いている。
動物も植物も、
生きとし生けるものは
みな、動いている。
生きることとは動くことである。

働くことである。
そして、よき人生とは
よき行動の結果である。
すばらしき人生は
正しき行動の
地道な繰り返しから花咲く。
ゆえに、何があるとも、

前へ前へと行動し抜く人が
勝利の人なのである。

足取り軽く、
友のもとへ行こう！ 語ろう！
動けば、何かが変わる。
直接、会えば心が近づく。
誠実に語れば
一歩、強い絆が生まれる。
気取らず、気負わず、
誠心誠意の対話で
友の心を開拓していけばよいのだ。

「地域から世界へ」
「一人から全人類へ」――

これが、
平和と広宣流布への波動となる。
私たちの日々の活動は小さく
地味に思えるかもしれない。
しかし、その一つ一つが
ダイナミックな波動となって
全世界に広がっている。

「言葉が種となる」とは、
お隣・韓国のことわざだ。
対話を通して蒔かれた種は、
時とともに花を咲かせる。
対話のなかに、
対立から協調への軌道があり、
平和の懸け橋が築かれる。
私は生涯、

「日々、これ対話」の人生を
歩み抜きたい。
この大道に、
わが青年たちが
限りなく続くゆくことを信じて！



アメリカ・デンバー大学副学長のナンタ博士の自宅を訪れた池田名誉会長夫妻。誠実な語らいの中で、友情を育み、平和の潮流を広げる実践を賣ってきた（1996年6月）